

平成 29 年 新春講演会並びに賀詞交歓会

総務委員会 上保 繁幸

去る平成29年1月20日(金)、仙台ガーデンパレスにて一般社団法人東北地質調査業協会、一般社団法人全国さく井協会東北支部、一般社団法人斜面防災対策技術協会東北支部の3協会合同による恒例の新春講演会及び賀詞交歓会が開催されました。



講演される大島洋志氏

新春講演会では、講師に地質情報整備活用機構会長の大島洋志氏をお迎えし、「地質リスクを見逃さない地相入門－地相をよく観て路線選定を行う－」と題してご講演を頂きました。講演は冒頭、氏のマンションで有名な力士とエレベーター内で遭遇したプライベートな話から切り出され、場が和んだところで昨年11月に博多駅前で発生した陥没事故について、トンネルの専門家としての立場から計画・施工について辛口のご意見を述べられました。土木と地質は密接であり土木屋は地質の勉強をしなければならない。

地質を軽視した計画は大きな代償を払わされることになる。ということを氏の豊富な経験から多数の現場を例に説明されました。また、演題の地相には地質情報と地形情報が盛り込まれていること、地相をよく観て地質リスクを把握すること

の重要性について熱く説かれました。参加者は氏の経験に基づいた講演に熱心に耳を傾けていました。今回のご講演は地質調査に関わる協会員には、今後の業務に役立つ貴重なお話ではなかったでしょうか。

引き続き行われた賀詞交歓会は、近年では最多となる3協会総勢142名が参加し大変な賑わいとなりました。



高橋理事長の挨拶

開会に際し、3協会を代表して当協会理事長の高橋和幸氏が挨拶に立ち、「業界の未来を見据えた永続的な発展のためにも“担い手の確保と育成”が近々かつ最大の課題であり、若い人たちにこの業界の魅力や重要性を伝えることが如何に重要であるか、そのためにもこの業そのものの魅力を我々業界が団結して発信していくことが大切である」「米国のトランプ大統領の誕生や英国のEU離脱の明言などなんとなく先行きの怪しい2017年のスタートですが、今年の干支の酉年は運氣を取り込む商売繁盛の年であるので是非明るい1年にしていこう」とのメッセージが発せられました。

続いて、来賓として御臨席頂きました、

国土交通省東北地方整備局技術調整管理官横山喜代太氏より3協会に対する大きな期待とあたたかい激励のお言葉を賜り、参加者一同、改めて身が引き締まる思いをされたのではないのでしょうか。

その後、一般社団法人斜面防災対策技術協会東北支部長 奥山和彦氏による乾杯の発声で宴席がスタートしました。

久々の再会に互いの近況を確認しあう

姿や、この季節恒例の東北各県から集まった会員による各地の積雪状況の話題を肴に酒を酌み交わす姿が見られ、終始和やかな賀詞交歓会となりました。

締め括りは、一般団法人全国さく井協会東北支部長の高田信一氏より、3協会員及びそのご家族の健康と健勝を祈念した手締めを行い、盛会のうちにお開きとなりました。



横山技術調整管理官の祝辞



大勢の参加で盛況の賀詞交歓会